



NIE 教育に
新聞を

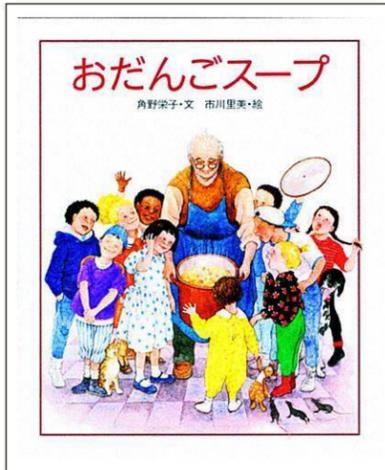
4

小学1・2年生向け

おだんごスープ

かどのえいこぶん いちかわさとみ え
角野栄子文 市川里美絵

おじいさんは、一緒に暮らしていたおばあさんを亡くし、元気なく毎日過ごしていました。ふと、おばあさんの作ってくれたスープが飲みたくなり、一番小さい鍋にスープを作りました。おばあさんが歌っていたスープ作りの歌を思い出し、ひき肉を入れました。いい匂いにつられてやってきたネズミにスープを分け、残ったスープを飲んだおじいさんは首をかしげました。「おばあさんのスープは もっとおいしかったなあ。」おじいさんは、もう一度おばあさんの歌を思い出し、ジャガイモと塩コショウを足しました。すると、今度は猫がやってきて…。温かいスープを動物たちにふるまいながら、少しずつ元気を取り戻していくおじいさんの姿に注目です。



(偕成社 1540円)

小学3・4年生向け

はじまりは 火

一火とくらししてきたわたしたち

まつむらゆりこ作 小林 マキ絵

「めらめら。ぼーぼー。」何の音でしょうか？ 答えは「火」です。私たち人間は、大昔から火と共に暮らしてきました。火を使うのは、周りを明るくしたり、体を温めたりするためだけではありません。木の実や肉をおいしくしたり、土で作った器を堅くしたりすることもできました。やがて、人間は発電機を発明し、火に代わって電気を使うようになりました。火や電気によって私たちの暮らしが便利になってきた道のりがわかるのと同時に、燃料となる森の木が少なくなったり、空気や水が汚れたりといった環境問題についても知識を深めることができる絵本です。巻末には、人間が使ってきた燃料の変化がわかる図が付いています。



(福音館書店 1540円)

図書館へ



寒い冬 体温め活動的に

寒い冬は、布団からも家からも出るのが面倒になります。でも、寒いからといって室内にこもっているのはもったいない気がします。今回紹介する本から、体を温め、活動的に過ごすヒントをもらいましょう。

(山梨県立図書館 大平きよみ)

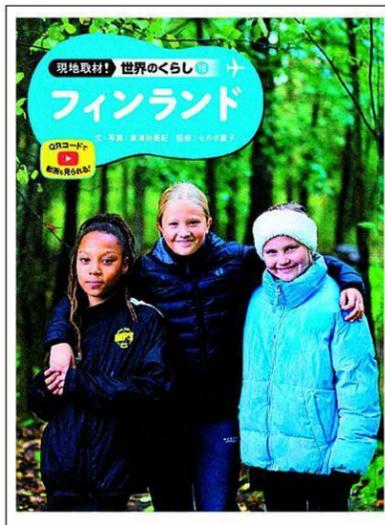
＝毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

現地取材！世界の暮らし18

フィンランド 東海林美紀文・写真 セルボ貴子監修

日本よりも冬が長く寒い国では、どんな暮らしをしているのでしょうか？ 北海道より北にあるフィンランドでは、建物の扉や窓が二重になっており、建物全体にパイプでお湯をめぐらせているので屋内では温かく過ごせます。また、家にはサウナがあり、熱い空気で体を芯から温めます。アイスホッケーなどのウィンタースポーツも盛んで、冬に街の広場に作られるスケートリンクでは、たくさんの方がスケートを楽しみます。先住民サーミの人々が住む北部では、冬の気温が-40℃近くになります。トナカイの毛皮で作った温かいブーツをはいて犬ぞりで遊ぶ彼らの姿には、自然に寄り添いながら寒さを楽しむ暮らしの知恵があふれています。



(ポプラ社 3850円)

中学生向け

The MANZAI 十五歳の章(上・下巻)

あさのあつこ著

不登校だった歩は、父親と姉を交通事故で失ったのをきっかけに、母親の故郷に引っ越しました。新しい中学校に慣れてきたのもつかの間、同じクラスの秋本に強引に誘われ、文化祭で「漫才ロミオとジュリエット」をすることに。漫才は好評でした。観客の笑いは歩の身体にしみ込んで熱となり、内側からわくわくする感じがしてきました。「笑ってエネルギーなんだ」。歩は、漫才を続けることにためらいつつも、気付くと笑いのことを考えていました。夏祭りでも漫才を披露することになりますが…。歩と秋本のテンポ良く進む漫才のような会話に笑い、2人を取り巻く仲間たちの葛藤や友情に胸が熱くなる一冊です。



(KADOKAWA/角川文庫 上巻1012円 下巻1012円)